

令和4年度（第67期生）卒業研究・卒業設計発表会プログラム

令和5年2月27日（月）

A会場 A104 教場（午前）10:20～11:36（午後）13:20～15:50

【A会場（午前の部）】

セッション A-1 10:20～11:36（76分）

（司会：田口准教授，進行係：大谷准教授）

発表番号	時間	分	題 目	発表者氏名	指導教官
1	1020～1052	32	真空槽内構造物が電気推進機推進剤流れに与える影響	蔭山 肯慎	中山教授
2			電気推進機推進剤流れ評価用計測器 –小型化設計–	志村 敦	
3			円筒型ホールスラストの可視化設計および試作動	若井 純基	
4			固体ロケットモータの排気流赤外撮像および推力軸計測	山口 貴彬	
5	1052～1102	10	多細孔噴射による燃料流管先端形状の再現	藤田 周一郎	小幡教授
6	1102～1112	10	スクラムジェットに関する解析的な研究	宍戸 正大	
7	1112～1122	10	斜単孔低流量噴射による衝撃波の形状解析	東郷 大河	
8	1122～1136	14	Swivel ノズルを持つ電動ファンエンジンの特性曲線に関する研究 ～第2報	内山 拓海 重久 明輝	大谷准教授

【A会場（午後の部）】

セッション A-2 13:20～14:14（54分）

（司会：大谷准教授，進行係：溝口准教授）

発表番号	時間	分	題 目	発表者氏名	指導教官
9	1320～1334	14	極超音速流中の曲面に生じる境界層の三次元数値解析	板垣 星砂 廣瀬 丈郎	井藤教授
10	1334～1344	10	低 Re 数領域における NASA LS(1)-0417 翼の空力特性に Re 数が及ぼす影響	吉田 琉颯	溝口准教授
11	1344～1354	10	曳航水槽における乱流場の生成と NACA0012 翼周り流れの可視化	堀江 信州	
12	1354～1404	10	低レイノルズ数領域における NACA0012 翼空力特性の LES 解析	小名木 信輝	
13	1404～1414	10	強乱風洞の測定時間延長と空気力測定の実現	中島 稜	

セッション A-3 14:30~15:50 (80分)

(司会：溝口准教授，進行係：田口准教授)

発表番号	時間	分	題 目	発表者氏名	指導教官
14	1430~1440	10	競技用単発プロペラ機の構想設計	加子 達也	榎谷教授
15	1440~1450	10	大型貨物機の構想設計	兼田 俊輝	
16	1450~1500	10	煙風洞による Stagger を持つブーゼマン複葉翼の空力特性に関する研究	梅崎 諒太	榎谷教授 田口准教授
17	1500~1510	10	Wavy 翼の翼端からの渦構造と空力特性に関する研究	國重 俊輔	
18	1510~1520	10	PIV による複数の VG からの渦と境界層の干渉に関する実験的研究	渡邊 聖羅	
19	1520~1530	10	フラップを有する遷音速ブーゼマン複葉翼に対する試験気流のばらつきによる影響	周布野 慎二	田口准教授 榎谷教授
20	1530~1540	10	光源波長の混合により感度変調が可能な感圧塗料の開発	久富 稜介	
21	1540~1550	10	高速飛翔体舵面まわりに生じる空力干渉加熱に関する基礎研究	杉浦 真央	

B 会場 A106 教場 (午前) 10:30~11:30 (午後) 13:20~15:42

【B 会場 (午前の部)】

セッション B-1 10:30~11:30 (60分)

(司会：高野准教授，進行係：工藤講師)

発表番号	時間	分	題 目	発表者氏名	指導教官
22	1030~1040	10	衛星搭載用展開アンテナに対する振動付与による展開再現性の向上	原口 直也	田中教授
23	1040~1050	10	スペースデブリ捕獲のための地上試験における銚後端形状が銚回転に与える影響評価	岡村 建志	
24	1050~1100	10	過度な曲げ変形を防止する機能を付加したラティス構造の提案	加藤 弘雅	
25	1100~1110	10	コルゲート構造を利用した月面探査ローバのタイヤに関する研究	牧野 由依	工藤講師
26	1110~1120	10	各種 CFRP 材の開口型剥離試験における層間破壊靱性と温度の影響に関する研究	亀岡 成孝	
27	1120~1130	10	CFRP の面内剪断型剥離における層間破壊靱性とその積層構成に関する研究	椿本 怜央	

【B会場（午後の部）】

セッション B-2 13:20～14:25（65分）

（司会：工藤講師，進行係：有田助教）

発表番号	時間	分	題 目	発表者氏名	指導教官
28	1320～1330	10	有翼ヘリコプタの胴体や翼幅が主翼ダウンロードに与える影響	松谷 悠大朗	糸賀教授 有田助教
29	1330～1340	10	有翼ヘリコプタのサイドプロペラ推力に対するロータ後流の影響	吉田 蒼龍	
30	1340～1354	14	ハンググライダー型模型滑空機の飛行実験に関する研究	酒井 剛志 後藤 泰平	越智教授
31	1354～1404	10	3次元剛体振り子の慣性モーメントの推定に関する研究	荒武 広人	
32	1404～1425	21	火星スイングバイを利用した外惑星探査軌道の研究	新田 隼世	山口教授
33			深層強化学習アルゴリズムによる軌道遷移に関する研究	永易 太郎	
34			電気推進を利用した静止軌道投入に関する研究	トッサポーン・カムランディー	

セッション B-3 14:45～15:42（57分）

（司会：有田助教，進行係：高野准教授）

発表番号	時間	分	題 目	発表者氏名	指導教官
35	1445～1455	10	ドローンの充電地点への着陸誘導制御に関する研究	細野 翔雅	山崎教授
36	1455～1511	16	飛来物体の軌道変更による加速度推定と危険度判定に関する研究	松村 聖也	
37			宇宙からの飛来物体の軌道推定と分散に関する研究	宮城 莉樹	
38	1511～1521	10	会合角を指定した飛翔体の最適軌道に関する研究	北川 圭祐	高野准教授
39	1521～1542	21	土星へのレーザーセール宇宙船の軌道最適化に関する研究	廣瀬 功汰	
40			火星へのレーザーセール宇宙船の軌道最適化に関する研究	佐藤 竜貴	
41			木星へのレーザーセール宇宙船の軌道最適化に関する研究	森下 景介	

16:00～16:20 学科長総評、学会賞受賞式

人数	時間	発表時間	質疑応答	合計時間
単独発表		7分	3分	10分
共同発表	2名	10分	※	
	3名	15分	※	
	4名	20分	※	

※ 質疑の時間は、テーマ×3分、人数×2分のうち、長い方  
 例 3人で1テーマを発表：質疑6分（2分×3人）  
 3人で3テーマを発表：質疑9分（3分×3テーマ）